

はるかだより

「はるか」への道

メンタルヘルス問題のある親による子ども養育世帯支援の研究をしてきた関係で、地元岩国市の要保護児童対策地域協議会に何度かお邪魔させて頂いていました。

ある日、当時の担当課長さんから「岩国市に児童福祉施設を設置したい」というご相談があり、ついに空白地帯が動き出すかと、心が躍るような思いを抱いたものです。気の長い取り組みになると覚悟するより早く、お話しはどんどんと進んで行きました。その速度と到達水準は、私などの想定を軽々と超え、今なお前進し続けています。

ここには、岩国市行政職の皆さんの、業務を超える情熱が巻き起こした力強い風がありました。狙っても

決して得られないであろう千載一遇の機会もありました。それを偶然で終わらせまいと慎重かつ大胆なビジョンで調整し必死へと結び付けてくださったご縁もありました。

そして何より子どもたちの存在が、かかわる応援団たちの心に常に力を注いでくれていました。ルーツとなった島もまた、その名の通り人の想いや願いの大切さを教え導いてくれたのだと思います。

川村理事長と初めてお目にかかったのは、話が動き出してしばらくした時のことでした。同年輩の精悍な印象の方で、児童福祉領域一筋でその運営管理も多く手掛けて来られた方と伺いました。良い時に得難い人材がおられたのですが、理事長自身も新任で、法人そのものを新たに再構成しつつ新築かつ別自治体への

第5号

◆発行日：令和3年6月
◆発行者：社会福祉法人はるか
〒740-0011
山口県岩国市立石町3丁目6-25
TEL：0827-28-6085
FAX：0827-28-6086
HPアドレス：
http://www.tsure20.co.jp/haruka/
E-mail：info@ha-ru-ka.jp

移動をするという、おそらくは全国的にも前例に乏しいチャレンジです。

この施設と子どもたち、そして職員さんたちを引き受け、高齢化人口減少著しい島の跡地問題や同時に島の学校の閉校という課題さえも抱える訳です。拾われたのは火中の栗どころではなかったのではないかと、当時の心労をお察しするほかにありません。

とはいえ、いざ本格的にプロジェクトが動き出すと、時代の風を受け止めるその眼差しと一気呵成にことを進めるリーダーシップを遺憾なく発揮されました。ここに集う皆がいつのまにか遠く高くへと導かれ、もとより個性派揃いのスタッフの皆さんの持ち味は日に日に磨きがかかり、主体性に勢いにつき、各セクション

移転をするという、おそらくは全国的にも前例に乏しいチャレンジです。

この施設と子どもたち、そして職員さんたちを引き受け、高齢化人口減少著しい島の跡地問題や同時に島の学校の閉校という課題さえも抱える訳です。拾われたのは火中の栗どころではなかったのではないかと、当時の心労をお察しするほかにありません。

とはいえ、いざ本格的にプロジェクトが動き出すと、時代の風を受け止めるその眼差しと一気呵成にことを進めるリーダーシップを遺憾なく発揮されました。ここに集う皆がいつのまにか遠く高くへと導かれ、もとより個性派揃いのスタッフの皆さんの持ち味は日に日に磨きがかかり、主体性に勢いにつき、各セクション

自立援助担当職員より

2004年の児童福祉法が改正で、児童の自立支援と施設退所後の相談援助が児童養護施設の主たる目的となりました。

東京では自立支援担当職員の配置が標準化され、就労体験や社会スキルの習得の場を設けており、はるかでも独自の在り方を見つけていきたいと思っています。

あけはの寮時代を含めると数百人を超える皆さんが施設を巣立っています。定期的に連絡をくれたり、結婚式に呼んでくれたり、この仕事の醍醐味を伝えてくれる一方で、私たちが行ってきた支援には、子どもたちのニーズに合致していない部分があったかもしれません。そこにも目を向け、「孤立」ではなく「他者」が共存できる生活のサポートができないかと考えています。そんな私も、色んな人が手助けしてくれた、という体験を積み重ねている段階です。

子どもたちの生活がより良いものになるよう、この記事を読んでもくださる皆さんとつながる機会ができれば、たいへん幸甚です。

平成24年4月1日に、『児童相談所の里親担当職員、里親委託等推進員、里親会等と連携して』(A)所属施設の入所児童の里親委託の推進、(B)退所児童のアフターケアとしての里親支援、(C)所属施設からの退所児童以外を含めた地域支援としての里親支援を行い、里親委託の推進及び里親支援の充実を図ることを目的として配置されました。

具体的な業務の内容としては以下の通りです。

- ① 里親の新規開拓
- ② 里親候補者の週末里親等の調整
- ③ 里親への研修
- ④ 里親委託の推進
- ⑤ 里親家庭への訪問及び電話相談
- ⑥ レスパイト・ケアの調整
- ⑦ 里親サロンの運営
- ⑧ 里親会の活動への参加勧奨及び活動支援
- ⑨ アフターケアとしての相談

令和2年度より山口県には里親支援機関が設置されたことにより、措置以外の里親支援業務は民間の施設が担うことができる素地ができました。里親支援専門相談員は同機関、児童相談所と協働関係を維持しながら、里親支援に従事しています。

卒業生コラム



村中 龍之介さん

情島にきたのは、小学4年の8月の終わりでした。不安はありませんでしたが、あまりの田舎な風景にちょっとだけビクビクしました。

情島での暮らしは、悪く感じず、むしろ安心できるものでした。入所してくる子どもたちは、それぞれの問題を抱えてあけはの寮に来ます。僕は家よりも、あけはの寮にいる方が、自由を感じられたように思います。

小学生のころは、自分のことを受け止められず、なぜ肌は黒いのか、名前前にミドルネームがないのかと悩む時期もありました。けど、寮の先生、学校の先生、同じ肌の色の友達とあえて、自分を受け止められるようになり、今では、自虐的に使うようにはなりました(笑)

これが、いいか悪いかはわかりませんが、自分を受け止める、理解することによって、解決すべき問題に気が付くことができました。感謝しています。

先生達は、いつも真剣に子どもたち

ちに向き合っていると思います。ですが、多感な時期の子どもはなかなか、それを理解できず、ぶつかり合う姿も多々目にしてきました。逆に僕は、先生達の言うことを深く考えず、言われるがままに聞いていたので、自分で考えて行動するのが苦手です。今後、社会に出ていく子どもたちに言える存在だということ。しかし社会に出たらそんな人たちは多くありません。1人でもしっかりと歩んで行けるよう、ご飯や洗濯、お金のつかいかたを学んでほしいです。

人生は一度きり。就きたい仕事、仕事の趣味など、自分のライフスタイルに合うことを見つけていったら良いと思います。僕は酪農の仕事に就きましたが、どうしてもお笑い芸人になりたい夢をあきらめきれず、東京に



先生達は、いつも真剣に子どもたち

やホームの個性へと反映されてきました。

子どもたち親たちへののていねいな関わりと地域に溶け込んだ先駆的な取り組みの数々は皆さまご承知の通りです。また、かねてよりこれほど思っていた逸材が次々と法人スタッフや理事に引き入れられたことから、その求心性と先見性に卓越したものを感じます。

理事会とは、普通こんなにも明るく夢のある会議なのでしょう。か。レ・レ・レ」と目を白黒させながら、こうして夢のような展開の中で過ごさせていただきました。

こうして育まれた「チームはるか」は、これからのさまざまなゆらぎを受け止め工夫を続けて行くことでしょう。

ここが、これからも子どもたち、大人たち、そしてこの街とともに、良い苦勞を重ねつつ互いに応援し合える場であり続けられますように。

新人職員紹介

はるかこどもの相談センター
岩金 俊亮

4月から、はるかこどもの相談センターで相談員として勤務させていただきますことになりました。

大きな困難を抱える子どもや家族への相談業務ですが、職場はいつも笑いにあふれていて、毎日元気に仕事をさせていただいています。私も笑いのスキルを磨き、子どもの最善の利益が実現するよう、笑顔パワーで頑張りたいと思います。

ホーム大地 藤田 美樹
ホーム大地の生活が1カ月経ちました。最初は不安もありましたが



出ることになりました。このチャレンジが成功だったか、失敗だったかは、数年後の自分にしか分かりません。やるだけやってみます。

僕にとって、あけはの寮や、グループホームでの思い出は、特別なものです。正直、世間一般の暮らしとは違います。それが嫌な人もいると思います。ですが、この経験は、きっと自分を強くしてくれると思うので、自分がかわいそうなお人とは思わず生活してほしいです。

児童家庭支援センターはるかこどもの相談センター

児童家庭支援センターは、こども・子育てに関するさまざまな相談に応じる児童福祉施設です。直接相談に応じ支援を行う場合と、児童相談所・市町村等と連携しながら支援を行う場合等があり、令和2年度は4165件の相談対応を行いました。

さらに、地域の子育て世代の方を

グループホームいる業
御手洗 勝也

1976年6月、北九州小倉で生まれ、開門海峡の門司港で育ちました。

児童養護施設の現場は約15年ぶりですが、それが嫌な人もいると思います。ですが、この経験は、きっと自分を強くしてくれると思うので、自分がかわいそうなお人とは思わず生活してほしいです。

「その時の出会いが人生を根底から変えることがあるよき出会いを」

相田みつを
出逢いを大切に、子どもたちと共に成長していきたいと思っています。

ホーム大地 高松 沙穂

大学を卒業し、初めて社会人として仕事をしていくなかで、毎日がとても勉強になっています。慣れないことや不安もありますが、子どもたちとたくさんかかわっていき、楽しく元気に毎日を過ごしていきたいと思っています。

私は、体を動かすことが好きなので、子どもたちと一緒に動き回ってきたいです。

ホーム大地 藤田 美樹
ホーム大地の生活が1カ月経ちました。最初は不安もありましたが

対象とした「親子ヨガ」は「はるちゃん広場(茶話会)」等のイベントを毎月開催しております。

相談料・イベント参加料は無料です。お困りごとがある方はまずお電話ください。イベントに興味・関心のある方はフェイスブックやインスタグラムをご覧ください。

また、今年度はオンライン面接・オンライン相談をスタートさせる予定です。「新しい児童センター」新しいはるかこども相談センター」を目前に、今までの以上に柔軟に対応できる体制を整え、令和3年度のスローガン「つながる」が達成できるようセンター職員一丸となり頑張っております。

どうぞよろしくお願い致します。

～2020年度：相談件数実績～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談人数	64	30	29	45	15	25	23	17	10	17	10	19	304
継続相談人数	0	41	49	53	65	41	34	38	73	55	46	31	526
月別相談人数	64	71	78	98	80	66	57	55	83	72	56	50	830
月別相談延件数	368	396	429	523	367	345	338	230	368	311	213	277	4165

少しづつ子どもが笑顔に向けてくれるようになり、たくさん話をしてくれるようになり、とてもうれしく思います。

早く仕事を覚え子どもと向き合える時間を増やし、子ども一人ひとりに合った対応ができるよう学んでいきたいです。

また子どもと共に成長して行けるよう頑張りたいです。よろしくお願ひします。

はるかこどもの相談センター
下川 多加栄

今年度より勤務させていただく期間が増えました。主にセンターで相談や親子ヨガなどを担当します。

子どもたちが安心してのびのびと子ども時代を過ごせるような環境としての大人でありたいな、などあれこれ考えながら約1時間、海を見ながら電車で揺られての通勤がリラックスタイムです。

みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。

ホーム大地 泉 彩紀子
児童養護の世界は初めてです。初日は緊張していましたが、子ども達

はるかこどもと相談センター

今年度より勤務させていただく期間が増えました。主にセンターで相談や親子ヨガなどを担当します。

子どもたちが安心してのびのびと子ども時代を過ごせるような環境としての大人でありたいな、などあれこれ考えながら約1時間、海を見ながら電車で揺られての通勤がリラックスタイムです。

みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。

ホーム大地 泉 彩紀子
児童養護の世界は初めてです。初日は緊張していましたが、子ども達

はるかこどもと相談センター

今年度より勤務させていただく期間が増えました。主にセンターで相談や親子ヨガなどを担当します。

子どもたちが安心してのびのびと子ども時代を過ごせるような環境としての大人でありたいな、などあれこれ考えながら約1時間、海を見ながら電車で揺られての通勤がリラックスタイムです。

みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。

ホーム大地 泉 彩紀子
児童養護の世界は初めてです。初日は緊張していましたが、子ども達

- 【寄付】
- 大和 泰久様
 - 海嶋 祐之様
 - Shumei Welfare 様
 - 三木 康二様
 - 高橋 正徳様
 - 上野 修二郎様
 - 明吉 小百合様
 - 重田 紳夫様
 - 松田 洋子様
 - 齊藤 覚博様
 - 細井 和男様
 - ヒロザネ キョウコ様
 - 社会福祉法人山口県同募金会様
 - 国際ソロプチミスト岩国様
 - 宝飾社丸様
 - 株式会社ヒジコム様
 - 山口県サンタ会様
 - 岩国通運株式会社様
 - 子どもの食緊急支援プロジェクト様
- 【寄贈】
- 高瀬 範夫様
 - 松田 洋子様
 - 伊藤 志久子様
 - 新庄 富士子様
 - 勝本 正子様
 - 上重 典子様
 - 村上 恵子様
 - 河重 小夜子様
 - 藤谷 清美様
 - 白石 克至様
 - 井岡 久明様
 - 田口 達洋様
 - 脇 雅美様
 - 齊藤 萌香様
 - Deborah Chase 様
 - Angel Michael 様
 - 三分一 多恵子様
 - 本郷町のみなさん
 - 株式会社様
- 【ご支援者】
- キムチチャラー様
 - 全国チャレンジャー協同組合様
 - 日本鏡餅組合様
 - 公益財団法人毎日新聞 西部社会事業団様
 - 岩国広印青果株式会社様
 - 岩国青果卸売組合様
 - 岩国青果物仲買人組合様
 - 公益財団法人中部財団様
 - 山口県建設業協会 岩国支部様
 - 株式会社サン・ミス・ローム様
 - 国際ソロプチミスト岩国様
 - 株式会社街づくり岩国様
 - （COC）MUSEUM 様
 - 岩国市社会福祉法人 地域公益活動推進協議会様
 - 岩国舞儀社様
 - 三共トレド株式会社様
 - なちよ歯科医院様
 - ながみ屋様
 - ばんのきもちのび様
 - 中国新聞岩国東販売所様
 - 美学倶楽部様
 - JITサンダース様
 - 株式会社たかくら新産業様
 - 株式会社フレール様
 - 公益財団法人日本漢字能力検定協会様
 - 佐川急便株式会社様
 - 屋久島東部茶産産組合様
 - シースター株式会社様
 - 株式会社ワイティエス様
 - 株式会社カワイイスチール様
- 【ご招待】
- ESOA 岩国駅前店様
- その他、地域および匿名の方々より、寄付金・お米・お野菜等をたくさんいただいております。誠にありがとうございます。
- 【令和2年4月1日～令和3年3月31日まで】



はるかこどもと相談センター

今年度より勤務させていただく期間が増えました。主にセンターで相談や親子ヨガなどを担当します。

子どもたちが安心してのびのびと子ども時代を過ごせるような環境としての大人でありたいな、などあれこれ考えながら約1時間、海を見ながら電車で揺られての通勤がリラックスタイムです。

みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。

ホーム大地 泉 彩紀子
児童養護の世界は初めてです。初日は緊張していましたが、子ども達

ライクホームはるか ホーム大海



ホーム大海では、幼児2名、小学生2名、中学生1名が生活しています。皆元気いっぱい、ホームはいつも賑やかな声が響いています。

ホームのスローガンは「こどもと一緒に！大人と一緒に！」で、子どもと職員と一緒に考え、行動し、共に成長しよう、という想いで決めました。

さっそく子ども会議を開きホーム全員で話し合いをして、子ども達の気持ちを聞いて、大人の想いを伝える機会を設けました。ホーム皆で、一緒に楽しく温かい「お家」を作っていきたいです。

ライクホームはるか ホーム大地

新年度の大地は小学生2人(姉妹)と幼児2人の4人スタートとなりました。

小学生は今年に入ってから空手を始め、帯の色が白からオレンジに変わりました。幼児さんは進級したことで、期待と不安が入り混じり、時には反抗してみたり甘えてみたりをして過ごしています。(幼稚園では優等生らしいです。)



大人は子ども達のやりたいことができるように、協力し合って、共に成長していけるように頑張っていこうと思います。

ファミリーホーム 吉田~母譜~



中2男子、学校よりもバスケが一番。中1女子、中学校生活に慣れるよう頑張っています。小5女子、公園で男の子とよく遊んでいます。小3男子、お小遣い稼ぎのために時々お手伝いしてくれます。小1男子、新しい学校生活をエンジョイしています。年中女子、洋式のおまるを使ってトイレトレーニングに励んでいます。

こんな楽しい6人と犬2匹とママのホームです♡。

ファミリーホーム 母譜



令和3年度スタート!!

ファミリーホーム母譜は、この春変化がありました。Mちゃんが社会自立、Hちゃんが家庭復帰し、何と2歳のH君が仲間入りです。

ハチャメチャ2歳児のH君が加わり、男の子ばかりの4人、元気にパワーアップしています。振り回されているのは大人の方。H君のハチャメチャぶりに、毎日愉快な

母譜です。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



ライクホームはるか ホーム大空



大空では現在、高校生2人・小学生1人・幼児2人が生活しています。生活を共にする大人(職員)も、老若男女、個性豊かなメンバーが集まりました!

今年度は、「自分のいいところ、大切な人のいいところを見つけよう!互いに伝えあおう!」というテーマを皆で決めました。自分の良さに気付く・再発見する機会にしてほしいという大人の想いがあり、子ども達一人ひとりに、『いいねノート』を作りました☆

子ども達が、キラキラ輝く笑顔で毎日を過ごせるように、大人も楽しく♪をモットーに、互いに助け合って生活しています。

令和2年度 思い出



ライクホームはるか ホーム大河

ホーム大河は現在高校生が1名、自立に向けて生活しています。受験生ということもあり、勝負の年になると思います。

身の回りのことなど生活のスキルアップだけでなく、この1年は進路や今後の人生について考え、進路選択をしていかなければなりません。

思い悩むこともあると思いますが、身近な相談相手となりたくさん話し合っ、夢や目標、進路実現に向けてサポートしていきたいと思っています。

グループホーム いろ葉

いろ葉では、小学生2人、中学生2人、高校生1人のとても元気な男の子たち5人が生活しています。

今年中学生に入学した2人は、まだぶかぶかな制服に身を包み登校しています。部活にも入部して頑張ろうとする姿を職員も優しい目で応援しています。小学校の二人も新しい学年になり、新たに頑張ろうと意気込んでいます。

今年度も、『優言実行』を合言葉に、笑顔あふれるホームにしたいと思っています。



麻里布第二 放課後児童教室

休校で終日開室となり、教職員の方々と連携で保育を行いました。2時までは自主学習時間で、児童は貴重な経験をしました。

支援員は、児童のマスク着用、手洗い、消毒、検温の徹底確認の他、定期的な換気と設備の消毒を入念に行いました。すでに密な教室内で、可能な限りの予防策を取ることは児童にも窮屈な思いをさせてしまいました。仲良くくっついて遊んでいると距離を取るよう注意をし、昼食やおやつ



時は同方向を向き静かに食べるよう促しました。外遊び時にもこまめな給水とマスク着脱のタイミングに特に気を配りました。あの時は頑張ったねと、子ども達と笑顔で振り返られる日が早く来ることを願います。



グループホーム 歩



現在歩では、小学生1人、中学生2人、高校生2人の5人が生活しています。

小学生は、ピカピカの1年生! 毎日楽しそうに登校しています。中学生は、2人とも転校してきましたが、お友達も毎日充実している様子です。高校生は、ホームでの生活も5年目を迎え、すっかり久賀の子です。今は、将来に向けていろいろなことを考え、頑張っています。

今年度も、笑顔で過ごせる、安心安全な温かい家をみんなで作って行きたいと思っています。

コロナ禍で 新たな生き方を考える

理事長 川村 宏司

「ひかりの子」として生きなさい。互いに親切にし、思いやりあつく心から許しあう者となってください。神に愛されている子どもとして、善悪を見分け、感謝を忘れず、平和をつくる人になってください。(エフェソ書5章)

新たな年度の始まりは希望にあふれた輝かしいものでありたいところですが、残念ながら昨年度に引き続き、社会全体が新型コロナウイルスに脅かされる中でのスタートとなりました。確かに「コロナ」は多くの不安と規制を生み出しましたが、皮肉にも社会が未知数の目標に向かうという経験したことのない動きとなっています。アフターコロナの世界はどうなるかわかりません。だからこそ、「新しい生活」を生み出すための対話と寛容な心で、より良い方向を目指していかねばと思うところです。

コロナ禍でいずれのホームも事業所も少なからず不自由さもあるかと思いますが、子どもたちが環境に慣れる力はあるようで、日ごろと同じ笑顔で自分のお家の前で過ごしています。そんな、子どもたちを見てみると、親愛なるシスターが上記の「ひかりの子」という聖書の一部を話してくれたことを思い出しました。カトリック信者ではない私でもとても助けられている教です。

それは、人は努力してもどうしようもないときはあります。そんな時に「ひかりの子として生きる」を実践することで、「新たな生き方」に変化し、よりよい方向になると自分勝手に解釈しています。現在、「人と人との関係作りのあり方」において、今まではない困難で複雑になってきています。そのことにより、虐待や貧困等の多くの社会課題につながっています。

そのためにも、私たちは地域のみならず目と目の前の子どもたちの生き方に種をまき、より人間性と個性を大切に「新しい生き方」を一緒に目指して行く存在になりたいと感じています。

最後に、平常を取り戻せる日は来ると信じ、すべての職員と共に法人理念である「ら・ら・ら みんな」を実践し、健康で笑顔を大事にしなから、今年度も果たすべき役割に日々努めてまいりたいと思います。